

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

敬称略

二月二十七日号の広報を見て、ごみの分別の仕方を再チェックしたところ、自分では合格点かなと思いましたが、でも、出るゴミの量はもっと減らしたいと思っているところです(吉川敦子 36歳・横森)

先日、ある会のボランティア活動として千秋公園を一周しました。幸い、カンとかペットボトルの投棄が少なく、市民モラルが向上したなあと感じた一日でした(松村隆72歳・千秋)

学校で地方自治体の仕事内容などを習うようになってから、広報を参考資料として読むようになりました。難しい内容が多いけれど、読みやすいところだけでもと思って読んでいます。二月十三日号の「秋田市の家計簿」の円グラフは、学校の授業で使うのと同じでわかりやすかったです(佐々木美佳 15歳・仁井田)

いつも月二回来るイソップ号を楽しみにしています。先

日「親のこころ」という本をお願いしたところ、わざわざ探してくれ電話までしてもらいました。とてもうれしく読むことができました(川辺ノリ子 63歳・新屋)

あきたノスタルジィの歩行者天国の写真を見て、とてもなつかしく感じました。当時、三歳の娘と歩行者天国に行ったら、着ぐるみの動物たちがいっぱい。娘は大喜びで、動物たちと写真を撮りました。娘は、その思い出の写真をいっぱいアルバムにはり、結婚するときに持っていきました(安田満子 61歳・外旭川)

就園前の子どもを育てている今の私にとって、「広報あきたは大切な情報源とともに、育児バイブル的存在です(栞沼千春 30歳・広面)

病院でインフルエンザの検査をした孫が、医者に「B型です」と言われたら、「私はAB型です」と答えました。血液型と間違えたようです。家に帰ってから大笑い(石川ふみこ 60歳・広面)

地域のお話 おしえて!!

このコーナーでは、町内や地域のいろいろな話題を紹介していきます。耳よりなニュースがありましたら、広報課までお知らせください。

tel(866)2034 FAX(866)2287

ビニールハウスの中はひとあし早い春... 街にももうすぐ春をお届けします

毎年4月、市役所前の花時計、公園の花壇、道路の中央分離帯などに花が植えられると、街がパツと明るい春の雰囲気になります。これらの花を栽培しているのは上新城、外旭川、追分、四ツ小屋の9軒の花き農家です。

その中の1軒、上新城の石井正伸さん(表紙のご夫妻)のビニールハウスでは、来月中旬の出荷に向けて、黄色や紫の花が咲き始めています。春に出荷する花はパンジー

とダイジー、あわせて2万ポット以上。気温の変動が激しいこの時期、花が伸びすぎたり、葉が変色したりしないように気を使います。

「花は話ができないから、よく見て何をしてほしいのか、わかってあげないとね。出荷した後も気になって、山王を通ったりすると、どうなってるかな...と花時計や中央分離帯を観察します」と話す石井さん。奥さんの正子さんと、子どものように愛情いっぱいこめて

育てています。



花の声をよ〜く聞きながら...



おしゃべりかわらばん



明德小学校から中央図書館明德館に、車いす1台ご寄贈いただきました。ありがとうございます。



明德館に車いすを贈った明德小学校の加賀瑞穂さん(6年生)

みんなの図書館にな～れ

学校のボランティア委員会が先頭に立って、全校でプルタブとアルミ缶を収集。車いす1台にするために、約2年かかりました。ケガをした人や障害のある人も利用できる、みんなの図書館になってほしいです。



こだわりの教材に関心

子育てに役立つ専門的な教材がたくさんあり、とても参考になりました。教材はみんな凝っていますが、材料は家の中にあるものばかり。自分たちの子育てサークルでも早速試してみたいです。



子育てのための手作り教材講座に参加した藤田妙川さん(外旭川)

完成品が楽しみ

Tシャツの製作は初めてで不安もありましたが、みんなが和気あいあいとしてチームワークが良かったので、良いデザインになりました。完成品を着るのが楽しみで、それを着て早く記念事業のサポートをしたいですね。



建都400年記念事業サポーターのTシャツ製作ワークショップの安立弘子さん

軽快な踊り“新秋田音頭”

学校で2学期から半年くらいかけて練習を積んできました。踊りを覚えるのは大変だったけど、1回覚えてしまえばそんなに難しくありません。今日はちょっと失敗しちゃったけど...。とっても楽しい踊りですよ。



郷土秋田を考える文化講演会で「新秋田音頭」を披露した成田沙織さん(八橋小5年)

漬け物のコツ学びました

きゅうりや白菜など簡単なものは家で漬けることができますが、目分量なので失敗が多いんです。先生が漬けたなすやきゅうりは、さすがにおいしかったです。今回、基本がわかったので、あらためて挑戦してみます。



中央公民館の春野菜の漬け物教室に参加した佐藤由美子さん

私の実家の茨城県では、早くも梅が咲きました。秋田にも、早く春が訪れますように！ お花見の季節が待ち遠しい(鷲谷典子 32歳・南通) 二月八日、大森山動物園冬の観察会に行きました。動物園は二十数年ぶり。猛獣舎のガラスのそばで横になっているトラを目の前に、小さな子どもたちに交じってガラスに手を触れていました。愛らしいキリンは寒いようで狭い室内に。春になったら外で駆けまわるキリンに会いに行こうと思っっています(佐藤ふみこ 50歳・茨島)

中央公民館の春野菜の漬け物教室におじゃましました。調理室にほわんと漂う漬け物の香りに包まれて写真を撮っている、おいしそう...というわたしの心のつぶやきが聞こえたのか、試食させてもらえました。先生は自分の畑の野菜を漬けていて、近所のかたに譲ったりもしているそうです。これこそ話題の「地産地消」「スローフード」。受講者のみなさんのしは漬けも、先生の漬けたピカピカのなすも絶品でした。上達の早道は毎回調味料の量や時間などを書いておいて、失敗を次回に活かすことだそうです。長年の勘「データの積み重ね。何事も楽しんで上達はな」といふことですね(水澤)

係からひとこと

広報クイズ



中央公民館の漬け物教室で

2月27日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「約4億円」、問2が「家庭ごみ」でした。

全問正解175通(応募総数180通)の中から、臼木嬉子さん(御所野地蔵田四丁目)、柏木ヒサさん(泉北三丁目)、鎌田恵子さん(土崎港相染町字沖谷地)、川西幸子さん(山王沼田町)、鈴木新一郎さん(飯島美砂町)、高橋みおさん(広面字野添)、寺門星子さん(仁井田福島一丁目)、保坂昭雄さん(将軍野東四丁目)、保坂久治さん(土崎港相染町字浜ナシ山)、若山良子さん(土崎港相染町字沼端)の10人のかたに図書券をお送りします。

3月の広報クイズは最終面です。よろしく!!

広報クイズの当選者は、毎回、市政記者室の記者のかたに厳正に抽選してもらっています(広報課)